

# 石川生物調査

9月22日(金)の3・4限目に生徒の強い希望もあり、石川での生物調査を行いました。2限目終了後すぐに体操服更衣し、前日放課後必要な道具を出しておいた玄関に集合。

荷物を全員で分担し、雨模様の天気の中、正門から西へ10分ほどの小黑橋左岸側の河川敷に向けて出発。小黑橋の下で胴長ライフジャケットを装着し、集合写真撮影の後いざ川の中へ。



今回は、もんどり(罟)は使用せず、タモ網での採集のみとしました。まずは、本流の流れに入り網を操ってみました。水の抵抗が大きく一人ひとりバラバラでは魚は全く捕れません。

そこで次は、網を持っている人が横一列に並び、持っていない人がそこに向かって魚を追い立てていく「追い込み漁」方式を試してみました。しかしながら流れの幅が広いので追い込み組も捕獲組も水の抵抗で素早く動けないため、魚は隊列の両サイドや捕獲組の隙間などから逃げてしまい、この方法も失敗。



追い込み漁

1

2



3

でもここまでは想定内ということで、河川敷遊歩道の際にある上流側・下流側ともに砂礫の堆積で細長い池状になっている場所に移動して最後のチャンスにかけることに。



ここは流れもほとんどなく深さも膝上ぐらいまでなのである程度は魚の動きに対応できるし、岸の茂みに潜んでいる魚を狙うこともできます。結果、モツゴと思われる小魚多数、それに混じってメダカ(ミナミメダカ)が少々とその収穫があり生徒のモチベーションも上がってきました。そのうちもう少し大きいのが捕りたいと岸の茂みを重点的に攻めはじめました。





しばらくして「大きいのが捕れた！」「こっちも捕れたで！」と嬉しそうな歓声があがりました。どんな大物が捕れたのかと確かめてみると 10 cm 足らず(確かにモツゴ・メダカよりは大きい)の一番捕れてほしくなかったブラックバスが 2 匹。

魚以外ではヌマエビ多数とミズカマキリ(カマキリという名前が付いているけど、セミやカメムシに近い昆虫)1 匹が捕れて、生徒はある程度満足した様子。道具の片付けもしなければならぬので残り時間 30 分のところで採集は打ち切り。

ブラックバス以外は水に戻し、学校に帰還。道具の水洗いと影干しをして授業を終了しました。

## 後片付け

